

The Society for Biotechnology, Japan / Annual Meeting 2018

第70回 日本生物工学会大会

東ソー ランチョンセミナー



講演番号 **3LS2**

演題

動物細胞培養から考える 抗体医薬品の分子不均一性

日時

9月7日(金) **11:35 - 12:35**

会場

LS2会場 (関西大学 千里山キャンパス 第4学舎4号館4202教室)

演者

鬼塚 正義 先生 (徳島大学社会産業理工学研究部)

抗体医薬品は主に動物細胞を宿主とした組換えタンパク質として生産されている。抗体医薬品は化学構造や立体構造が均一であることが望ましいが実際には分子不均一性を示す。宿主細胞内の生物化学反応により翻訳後修飾を含めた抗体生成が行われ、その反応制御が困難であることが不均一性の原因である。将来的には「分子不均一性の積極的な制御」が抗体医薬品製造のバイオプロセスにおける最も重要な研究開発項目になるのではないかと考えている。このセミナーではCHO細胞を宿主としたIgG1抗体を中心に細胞培養中に発生する凝集抗体や糖鎖構造の不均一性について、発生機構や制御方法について基礎的な知見を発表する。具体的には培養中における凝集抗体の発生機構、凝集抗体の構造的特徴、糖鎖構造と凝集抗体の関連性、糖鎖構造の制御の可能性などを紹介する。また新規アフィニティーリガンドFcRゲルを使用した分析例も合わせて紹介する。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

本社 / 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
TEL 03-5427-5180 FAX 03-5427-5220

大阪支店 ☎ (06) 6209-1948 名古屋支店 ☎ (052) 211-5730
福岡支店 ☎ (092) 781-0481 仙台支店 ☎ (022) 266-2341
山口営業所 ☎ (0834) 63-9888

<http://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

C1805GX.A